

# News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

令和2年10月

秋の声が聞こえる美しい季節が到来しましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？さっそくNewsletter 第32回配信です！どうぞお楽しみください。

## 〈 診療科紹介 アレルギー・リウマチ科 〉

今月はアレルギー・リウマチ科を紹介させていただきます。

アレルギー・リウマチ科を構成している医局員は、出身県（栃木県に集中していません）、出身大学（国公立を問わず、全国各地から集まっています）、性別（病棟を診ている先生は男女同数です）、年齢（社会人を経て医師になった先生も複数名おります）に偏りなく、派閥のようなものも一切ありません。自治医大の卒業生以外は、もちろん僻地診療もありません。とても風通しがよく、自由にものを言える雰囲気にあふれています。

当科の特徴は、大学病院にありがちな研究だけに固執していないことです。もちろん研究が好きな人は研究に没頭して差し支えありません。臨床が得意な人は臨床に、教育が得意な人は教育にと、大学病院の3本柱の「研究」「臨床」「教育」の中から自分の得意な分野で力を発揮することができます。研究では、教授が自ら優しく指導します（予定）。臨床では、腎生検、筋生検、皮膚生検などちょっとした手技を行うこともできます。教育では国家試験合格率TOPの自治医大で思う存分に力を発揮することができます。

膠原病やアレルギーは、特定の臓器に偏らず全身を診る必要があるため、日々の診療で自然と膠原病・アレルギーのスペシャリスト、かつ全身を診るジェネラリストになることができます。皆様是非自治医科大学アレルギー・リウマチ科の見学に来て、その雰囲気を体感してください。



〈昨年春のBBQ〉

## 【医師国家試験予想問題】

### 【問題1】

金属アレルギーと同じ機序で発症するのはどれか。

- a 血管性浮腫
- b ループス腎炎
- c ツベルクリン反応
- d 自己免疫性溶血性貧血
- e アナフィラキシーショック

正 解：c

解 説：

Coombs & Gell のアレルギーの分類によると、a の血管性浮腫は I 型（即時型）、b のループス腎炎は III 型（免疫複合体型）、d の自己免疫性溶血性貧血は II 型（細胞障害型）、e のアナフィラキシーショックは I 型（即時型）である。問題文の「金属アレルギー」＝「アレルギー性接触皮膚炎」は、IV 型（遅延型）であり、c のツベルクリン反応と同じ機序で発症する。

### 【問題2】

65歳の女性。関節痛を主訴に来院した。意識は清明。体温 37.5℃。血圧 140/80 mmHg。腋窩に径 2 cm のリンパ節を 3 個触知する。心音と呼吸音とに異常はない。血液所見：赤血球 375 万、Hb 11.1 g/dL、Ht 33%、白血球 12,300、血小板 43 万。血液生化学所見：総タンパク 6.8 g/dL、アルブミン 3.2 g/dL、BUN 20.0 mg/dL、Cr 0.6 mg/dL、AST 23 U/L、ALT 24 U/L。CRP 5.6 mg/dL。両手の写真を示す。

この患者で陽性になる可能性が高い血液検査項目はどれか。

- a HLA-B27
- b HLA-B51
- c 抗 CCP 抗体
- d MPO-ANCA
- e PR3-ANCA

正 解： c

解 説：

疾患は関節リウマチである。関節痛、微熱、腋窩リンパ節腫脹、消耗性の低アルブミン血症、炎症反応（CRP）高値は、いずれも関節炎に伴う所見である。写真は関節リウマチ特有の変形のムチランス変形である。関節リウマチで感度、特異度が高く、高率に陽性になる検査所見は、c の抗 CCP 抗体である。a の HLA-B27 は強直性脊椎炎、b の HLA-B51 はベーチェット病、d の MPO-ANCA は顕微鏡的多発血管炎、e の PR3-ANCA は多発血管炎性肉芽腫症で陽性になることが多い。これらの疾患は、いずれも関節炎を呈することがあるが、写真のような変形を来すことはない。